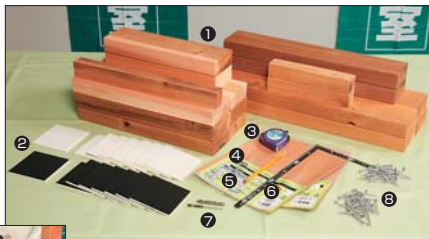


天板のタイルは乗せてあるだけなので、とりはすして木目の雰囲気も楽しめます。
作り方は次ページ！



ホームセンターで、こんな材料・用具を用意しましょう



【木材・用具】①木材(ウエスタンレッドシーダー 2×4材)
②タイル10角(白・黒 各8枚) ③メジャー
④サンドペーパー(#100、#240) ⑤鉛筆 ⑥カネジャク
⑦ドライバビット(下穴あけ用、プラス)
⑧ホネジ(51、65) ⑨プラスチックハンマー



【電動工具】①充電ノコギリ
②充電ドリルドライバー
③充電インパクトドライバー

《工具協力》松下電器産業(株)

電動工具で組み立てカンタン シリーズ

庭やベランダのコーナーで
カフェ気分を楽しむ
「タイル貼りのカフェテーブル」



家事の合間に、ホッとしたいお茶の時間。
いつものリビングやキッチンとは気分を変えて
庭の木陰やベランダに、こんなカフェテーブルがあったらうれしいですね。
小型なのでどこへでも持ち運びできます。
電動工具があれば組み立てはカンタン。制作の指導は、カーマ21熱田店。
電動工具協力は、松下電器産業(株)の「マイジョイ」シリーズです。
さっそくいっしょに作ってみましょう。

「タイル貼りのカフェテーブル」の作り方

6 天板の板を上側から木ネジ(51)で取り付ける。



4 枠の下側角部分に、脚を4本インパクトドライバーで取り付ける。



1 木材に図面どおりに印を付け(スミ入れ)、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるとこもあります)



7 脚の下部に補強のサン木を左右2カ所取り付け。



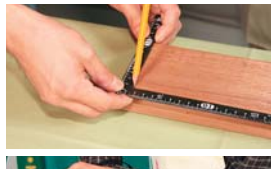
5 脚の間左右2カ所に天板受けのサン木を内側から取り付け。



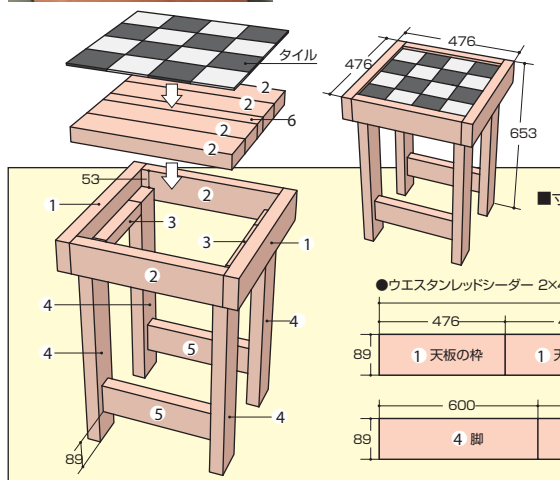
2 木ネジを締める位置に印を付け、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあける。



8 木部表面をサンドペーパーでなめらかに磨き、天板の上にタイルを左右4枚ずつ並べる。(タイルは接着しないので、色や大きさを取り替えて楽しむことができる)



3 天板の枠を組み立てる。下穴をあけた位置に、インパクトドライバーのプラスビットで木ねじ(65)を締める。



協力/カーマ21熱田店 電動工具/松下電器産業(株)

*木工関連の材料やサービスについて、一部扱っていないホームセンターもあります。

組み立てには、一人より二人。息ピッタリの親友同士だから作業もスピーディー。



インパクトドライバーを使えば、長い木ネジ締めもラク。

ドリルドライバーで下穴あけをする下村さん。



も「(下村さん)仕事でなく遊びの感覚で楽しめるのがいいねえ」(高山さん)と、二人ともそれぞれに男のDIYを楽しんだ様子。もともと蝶のコレクター仲間でも、長い付き合いというお二人、趣味や遊びが息ピッタリのはずです。この



天板の上にタイルを並べて、カフェテーブルの完成!

遊びはハマリそうですね。短時間だったけどとても楽しかったです」と声をそろえます。あなたも仲間や家族でトライしてみませんか。



●アドバイス
カーマ21熱田店DIY担当
(左から)三輪剛史さん、鬼頭信夫さん

●Pakoma読者スタッフ(右から)
高山 進さん(愛知県東海市)、
下村直樹さん(愛知県名古屋)

木ネジ締めは、パワフルなインパクトドライバーで組み立ててもあっという間! タイルを乗せればできあがり

カットした木のパーツに、すべてドリルドライバーで下穴をあけ終わったら、いよいよ組み立てに入ります。下穴をあけた部分にインパクトドライバーで木ネジを締めいきます。回転方向に上から叩き込む機能と、ネジ締め機能が一つになった、インパクトドライバーは手に振動が伝わるほどパワフルな工具。トングをしっかりと手のひらで固定して使

のがポイントです。このパワフルな木ネジも一瞬で締めつけていき、作業はどんどんはかどります。

最後の木ネジを締め終わって、テーブルの形ができあがって、サンドペーパーで表面をなめらかに磨きます。仕上げの工程、天板部分に一人ではタイルを並べながら、組み立てはやはり二人いるとやりやすいですね。一人だとちょっと大変か

高山さん。

木のカットが終わったら、木ネジを締める位置にすべてドリルドライバーで下穴をあけておきます。こうすると、初心者でも長い木ネジをラクに締めることができ、木ネジを締める途中で木が割れる心配もありません。この下穴あけも手慣れた一人の作業は、アドバイザーも驚くほどのスピードで進んでいきます。今回、Pakoma DIY教室に参加したお二人は、まさに絵に描いたような団塊世代の親友同士。と言っても、お二人とも現役バリバリの仕事人。多忙な仕事の合間を

縫って参加していただきました。下村さんは、名古屋市内で現代版画のギャラリーを営み、高山さんは、看板屋さんで、二人とも木工や工具の扱いには慣れています。



最初に、組み立ての手順や、工具の扱い方を確認して作業スタート。

「2×4の直線カットには、パワーカッターが不可欠」と高山さん。

気心知れた親友二人組、男のDIY
図面を見ただけで、これなら組み立てカンタン!
息ピッタリで仕上げた『タイル貼りのカフェテーブル』

「電動ドライバーは毎日のように使っているからねえ」(高山さん)
「二人でやると組み立てがラクだねえ」(下村さん)

今回、Pakoma DIY教室に参加したお二人は、まさに絵に描いたような団塊世代の親友同士。と言っても、お二人とも現役バリバリの仕事人。多忙な仕事の合間を縫って参加していただきました。下村さんは、名古屋市内で現代版画のギャラリーを営み、高山さんは、看板屋さん

で、二人とも木工や工具の扱いには慣れています。最初、図面を見ながらアドバイザーの三輪さんと鬼頭さんから組み立ての手順を聞き、「木のカットも、組み立ても、丸ノコや電動ドリルドライバーなどの電動具があれば速いですよね」と豪勝